



発行所

一般財団法人
広島県動員学徒等犠牲者の会
事務局

広島市南区比治山本町12-2

広島県社会福祉会館内

〒732-0816 電話 (082) 252-0316

印刷所 Taisei

デジタルブック

“慟哭の証言”

<http://www.douingakuto.com/>

短冊に込めた願いよ 届け！

理事長 本地正治

動員学徒慰霊塔下部の東西両面には、参拝者が折り鶴を捧げることができるようバーを設置しています。今年の3月末に新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が解除されることから、動員学徒慰霊塔への参拝者が少しずつ増えてきており、献納される折り鶴も徐々に増えてきました。3月から4月にかけて献納された折り鶴には、昨今の世情を反映してか平和で穏やかな世の中を願う短冊が多く付してありました。

その中から、小学生たちの短冊などを、少しご紹介します。

- ・世界が戦争をやめ 平和になりますように！
- ・大切な人が亡くなって悲しむのはいや！
- ・世界のどこにも核はいらない

- ・ノーモア ヒロシマ ノーモア ナガサキ ノーモア ヒバクシャ
- ・ノーモア フクシマ
- ・戦争が無い国が いつまでも続きますように
- ・コロナ対策で 命と暮らし 守ろう！

本年の2月下旬に始まった、ロシア軍によるウクライナ侵攻による廃墟と化した街並みの映像は、原子爆弾によって焦土と化した広島市の街地像とオーバラップしてしまい、暗澹とした気持ちになります。人はなぜ 残虐非道な過ちを いくども繰り返すのでしょうか。

短冊に込めた小学生たちの願いが届き、一日も早くウクライナ戦禍が終息しますように！



8月6日原爆死没者追悼式について

新型コロナについては引き続き注意を要する状況であり、同時に、今夏は、熱中症の発生が強く懸念される状況にあります。

については、今年は遺族・会員の皆様は自由参拝とし、役員による追悼式とご来賓による流れ献花を実施することといたします。

8時15分～追悼式（学徒慰霊碑前）

9時00分～ご来賓による献花

以上ご案内いたします。

目次

- 短冊に込めた願いよ届け！（理事長）・・・ 1
- 第66回原爆死没者追悼式のご案内・・・ 1
- ごあいさつ・御世話になる方々・新役員・・・ 2
- 令和3年度事業報告・収支決算・・・ 3～4
- コロナ禍の中の伝承活動に思う・・・ 5
- 広島平和記念資料館のご案内
- 研修会報告（その1）・・・ 6～8
- 令和4年度行事予定表・・・ 8
- ご寄付のお礼・あとがき・・・ 8

ごあいさつ



広島県健康福祉局
社会援護課長

西尾 雅 敏

この度、健康福祉局社会援護課長に就任し、援護行政に携わることになりました。よろしくお願い申し上げます。

最愛の肉親を失われました御遺族の皆様におかれましては、決して癒えることのない深い悲しみを胸に、多くの苦難を乗り越えてこられたところであり、その間の御心労と御苦労のほどは、察するに余りあります。

終戦から長い年月が経過し、戦争を直接知らない世代が多数を占めるようになり、人々の戦争の記憶が風化するものが懸念されるところです。

今日においても戦争中の国があり、ニュースや紙面で悲惨な状況を見聞きすることが増えた今、日本国

内はもちろんのこと、世界中のどの地域においても戦争の惨禍を繰り返さないために、より一層戦争の悲惨さや、戦没者の方々の尊い犠牲の上に今日の我が国があることを次の世代に語り継ぐとともに、再び戦禍により尊い命が失われることがないよう努めていかなければなりません。

本県では、援護関係施策のより一層の充実に向け、皆様とともに全力を傾けてまいる所存でございます。

終わりに、貴会の益々の御発展と皆様の御健勝をお祈り申し上げます。あいさつとさせていただきます。



お世話になる方々

広島県

健康福祉局長 木下 栄作
社会援護課長 西尾 雅敏
援護恩給グループ

主 査 山口 博幸
主 査 岩井 明子
主 査 舩石 幸恵
主 任 泉岡 幹雄
主 任 熊田 雄

援護恩給グループ
電話 082-513-3036

広島市

健康福祉局長 山本 直樹

健康福祉局 保健医療担当局長 岩崎 学

健康福祉局 保健部医務監 宮城 昌治

健康福祉局 保健部保険年金課長 斎藤 憲治

健康福祉局 保健部保険年金課 金谷 淳子

福祉医療担当課長 名桑 数美

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局 健康福祉局

理事・評議員及び監事の改選

5月23日に開催された定時評議員会・理事会において役員等の改選が行われました。

任期は、令和6年の定時評議員会までとなっています。

(役員の新体制)

理事長 本地 正治
副理事長 谷口 了子
評議員 渡 美津子

寺田 博

三木 島彦

津田 久美子

村興 久美子

寺前 宏晃

国元 洋子

小川 九人雄

渡邊 猛

安達 正恵

井上 公夫

福場 隆子

松浦 輝紀

徳田 由子

谷村 美智子

武田 実智恵

早稲田 良子

辻 靖司

中尾 俊男

久村 和夫

寺前 妙子

村中 和子

相談役

令和3年度事業報告書

- 1 広報活動の実施
- (1) 原爆死没者追悼式の案内
会報「ともしび第134号」の送付に合わせ追悼式の案内を送付した。
- (2) 会報「ともしび」の印刷・配布
令和3年6月30日付け第134号 950部
- (3) ホームページの運用
ア 会報「ともしび」の掲載134号・135号 930部
イ 3年度末アクセス数累計 8,790件
(3年度アクセス数872件)
- (4) 「慟哭の証言」等を関係機関等に配布
慰霊塔に千羽鶴を献納していただいた団体等へ冊子「慟哭の証言」等を送付した。
- (5) 慰霊塔説明文の設置
慰霊塔の説明文を常時設置し、参拝者の理解の一助にした。
(5千部配布)
- (6) 動員学徒等の顕彰と会の設立趣旨の広報
慰霊塔の清掃日等を利用して、随時、参拝者に対して原爆、空襲、動員学徒等犠牲者の状況等について説明した。

2 第65回原爆死没者追悼式の挙行日時		令和3年8月6日(金)
午後8時から		
場 所		動員学徒慰霊塔前広陽
実施内容		新型コロナウイルス蔓延のため式典は中止とした。 献花・テントを設置し、原爆投下時刻には役員による黙祷を実施し、会員は自由参拝とした。 また、死没者名簿の閲覧対応を行った。閲覧希望者数は16件であった。(昨年度26件)
3 動員学徒慰霊塔の清掃・供花・英霊供養		
月 日	参加者数	供養会(西向寺)
4月5日	17人	○
4月21日	16人	
4月30日	15人	
5月6日	16人	○
5月20日	12人	
6月7日	11人	○
6月21日	13人	
7月7日	18人	○
7月21日	21人	
8月5日	21人	○
8月20日	15人	
9月8日	14人	○
9月22日	10人	
10月6日	21人	○
10月20日	17人	

4 役員会等の開催		開催日	内 容
3・4・21		監事会	令和2年度決算関係監査
3・5・6		理事会	議案第1号 令和2年度事業報告に関する件 議案第2号 令和2年度決算の承認に関する件 議案第3号 定時評議員会の招集の決定に関する件
3・5・24		定時評議員会(書面開催)	議案第1号 令和2年度事業報告に関する件 議案第2号 令和2年度決算の承認に関する件 議案第3号 理事、監事及び評議員の選任に関する件
3・7・7		理事会	原爆死没者追悼式の実施打合せ

合計22回延363人参加(昨年度338人)

11月8日	22人	○
12月6日	17人	○
12月17日	22人	
1月6日	15人	┃
2月7日	10人	┃
3月7日	17人	○
3月23日	23人	

4・3・23	理事会・評議員会
議案第1号	令和3年度収支予算の補正に関する件
議案第2号	令和4年度事業計画に関する件
議案第3号	令和4年度収支予算に関する件

- 5 研修会の実施
- 12月17日にメルパルクで開催した。
テーマ 原爆記念資料館の概要
(講師 辻靖司さん)
- 6 その他
- (1) 慰霊塔の修繕及び周辺の環境整備

年月	工事名	工事内容
3・10	慰霊塔劣化補修工事	慰霊塔に発生した劣化の補修
4・2	慰霊塔前床面補修	慰霊塔前床面欠損部分の補修

(2) 会員数

令和4年3月31日現在 713人



令和3年度 収支決算書(正味財産増減計算書)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度A	前年度B	増減A-B	増減理由
I 経常利益経常費用				
1 経常増減の部				
(1)経常収益				
事業収益				
追悼式典事業収益	232,000	137,000	95,000	
受取補助金等				
地方公共団体補助金	1,329,000	397,000	932,000	
受取寄付金				
受取寄付金	256,000	271,000	△ 15,000	
雑収益				
受取利息	41,935	49,052	△ 7,117	
雑収益	476,753	396,637	80,116	
経常収益計	2,335,688	1,250,689	1,084,999	
(2)経常費用				
事業費				
会議費	0	0	0	
旅費交通費	257,800	217,300	40,500	
通信運搬費	206,634	281,607	△ 74,973	
消耗品費	146,207	187,577	△ 41,370	
修繕費	4,400,000	77,660	4,322,340	慰霊塔補修
印刷製本費	160,370	187,710	△ 27,340	
光熱水費	31,345	42,562	△ 11,217	
保険料	8,500	8,500	0	
委託費	169,520	130,000	39,520	
賃借料	0	4,600	△ 4,600	
諸謝金	800,000	800,000	0	
支払負担金	120,000	120,000	0	
雑費	155,000	104,500	50,500	
事業費計	6,455,376	2,162,016	4,293,360	
管理費				
会議費	0	0	0	
旅費交通費	96,000	129,000	△ 33,000	
通信運搬費	82,350	99,077	△ 16,727	
消耗品費	29,796	24,367	5,429	
印刷製本費	6,000	30,414	△ 24,414	
光熱水費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
諸謝金	160,000	160,000	0	
公租公課	21,000	21,000	0	
支払負担金	295,378	289,568	5,810	
雑費	166,158	112,013	54,145	
管理費計	856,682	865,439	△ 8,757	
経常費用計	7,312,058	3,027,455	4,284,603	
当期経常増減額	△ 4,976,370	△ 1,776,766	△ 3,199,604	
2 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,976,370	△ 1,776,766	△ 3,199,604	
一般正味財産期首残高	41,509,944	43,286,710	△ 1,776,766	
一般正味財産期末残高	36,533,574	41,509,944	△ 4,976,370	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	36,533,574	41,509,944	△ 4,976,370	

コロナ禍の中の 伝承活動に思う

村 興 久美子

私は2017年から被爆体験伝承者として、平和記念資料館の中や全国の小・中・高等学校、各種団体などで『被爆体験伝承講話』をさせて頂いています。一昨年には新型コロナウイルス蔓延のために、平和記念資料館の臨時休館や、県をまたいで移動が難しくなりましたので、定期講話や県外派遣の機会は激減していました。

そんな中でしたが、修学旅行や平和学習で広島に来ることが出来ない県外の学校に向けて、リモートでの伝承講話が始まり、私も3回ほど参加させて頂きました。

平和記念資料館や自宅のパソコンと、先方の学校の教室や体育館をオンラインでつないで、約50分間かけて「被爆の実相と被爆者の方から教えていただいた被爆体験」についてお話ししました。

被爆当時の地図や写真に加えて、資料館に所蔵されている沢山の「市民が描いた原爆の絵」や、基町高校の生徒さんたちが被爆者の方とマン

ツーマンで約1年かけて完成させた170点以上の油絵の中から数十枚の絵を、学校のスクリーンやモニターに映し出して、それらを見ていただきながら被爆体験をお伝えしていただきました。

いつもは現地に向いて、直接に生徒さんたちの表情を感じながらお話しできるのに、オンラインとなると、ただひたすらパソコンの画面に向かって一方通行で話し続けなければなりません。

画面の向こうに小さく見える100人、200人の学生さん達の表情はほとんどわからず、「ちゃんと伝えられているだろうか？」と不安もよぎります。そして講話後の質疑応答の時間もほとんど取れないままで終わってしまつて、「やっぱり、オンラインは難しいな」と感じていました。

しかし、それからしばらくたって、聴いて下さった生徒さんからの沢山の感想文が届きました。

その中のいくつかをご紹介します。

○ 広島には行けなかったけれど、絵や写真を使って話してもらつて、まるで自分がその場にいたような気持ちになりました。本当の体験談なので心が痛み、戦争の恐ろしさを初めて実感しました。

○ 私はテレビや本などで「戦争」を知った気になっていましたが、

講話を聞いて初めて「二度と繰り返してはいけない理由」が理解出来ました。これからは、自分たちが戦争の怖さを伝えて行かなければいけないと思いました。

○ 私は「戦争」という言葉が嫌いですが、今まで目をそむけてきました。今回の講話の中では、直視できないような写真や絵を見ながらお話を聞かせてもらつて、今の私たちに出来る事は「戦争」というものの真実を知る事なんだと思いました。伝承者の存在はとても大切だと感じました。

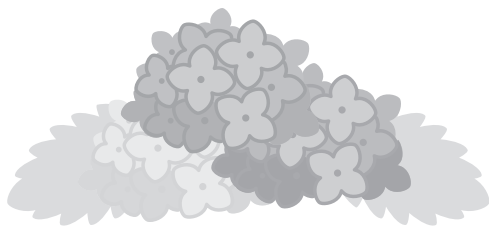
○ 「沢山の人が亡くなり、大ケガをした」というよくある原爆被害の表現からは絶対に感じることでできないような、原爆の本当の恐ろしさが生々しく伝わってきて、これが現実起こった事だと受け止めざるを得ませんでした。

○ 戦争の無い時代に生まれ、自分たちがこうして普通に生きている毎日に感謝しかありません。あの時代を生きて犠牲になった多くの人達のためにも、平和のバトンを受け継いで行きたいです。

…このような沢山の感想をいただき、被爆された方々が語ってくださる実体験そのものの力と、惨状を伝える沢山の絵や写真の持つ力を感じずにはいられませんでした。そして、

コロナ禍の中でのオンラインによる伝承活動も、それなりにお役に立てる事もあるのだと実感する事ができました。

これから先、新型コロナウイルスと共存する日常がいつまで続くのかわかりませんが、直接であれオンラインであれ、被爆者の方々から託された想いを自分なりにお伝えしていきたいと思っています。



広島平和記念資料館の ご案内(研修会報告)

(その1)

辻 靖司

当「広島県動員学徒等犠牲者の会」の2021年度の研修会を、昨年の12月17日(金)にメルパルクで開催し、私が講師役を務めました。「広島平和記念資料館のご案内」と題して、パソコンとオーバーヘッドプロジェクターを使って、動画などを含めた画像14枚を活用して説明いたしました。その説明内容の要点などを述べさせていただきますので、会員の皆様におかれましては、記念資料館を見学される際の一助としていただければ幸いに存じます。

研修会終了後に理事長から、「研修会は当会の重大な年間行事のひとつですが、辻さんから、簡潔明瞭でとても分かりやすい説明をしていただき、みなさん、とても分かりやすかったのではないのでしょうか。おかげさまで、とても有意義な研修会となりました。大感謝!です。」と身に余るお褒めの言葉をいただきました。また、聴講した方々からも「資料館を見学したことがあります、パソコンの説明のほうがより分かりやすかったです。」「資料館の見学をしたことがありませんでしたが、興味

がわき見学がしたくなりました。機会があれば案内をお願いします。」「原爆被害の実態が良く理解できました。目からうろこが取れた感じです。」「被爆者証言のビデオ収録がしてあることは知りませんでした。今度は資料館のビデオを見たいです。」などなど、嬉しい感想をいただきました。

これらのご激励の言葉を励みにさせていただきます。次回からの講話、研修を微力ながら一層真摯に務めて参りたいと思います。

(以下説明順に内容を簡記します。)

1 東館ロビー

○「ローマ法王平和アピール碑」…

最初に「ローマ法王平和アピール碑」の説明をしました。1981年2月25日に広島を訪れた故法王のヨハネパウロ二世は、核兵器廃絶のための「平和アピール」を行いました。このことを記念して記念碑が1983年に資料館東館ロビーに建立されました。「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命を奪います。戦争は死そのものです。過去を振り返ることは…」といった「平和アピール」の一部が、日英併記されています。人類の平和への願いが込められ、世界中が肩を寄せ合って平和と安定、共存を未来へ向けて平和志向することを表現しています。被爆体験証言者や伝承者の方々が講話などでこの碑文を沢山の方が活用されています。

○「地球平和監視時計」…

同じく東館ロビーにある「地球平和監視時計」には、1段目に「広島への原爆投下からの日数」が表示されており、2段目には「最後の核実験からの日数」が表示されています。直近の核実験は、2020年11月に、トランプ米政権が西部ネバダ州の核実験場で核爆発を伴わない臨界前核実験を行ったこととされています。原爆が投下されて以降、世界では2100回以上の核実験が行われています。年には「2100回÷77年＝27・27回」の核実験が行われてきた事になります。

2 東館3階「被爆前の広島」と

「失われた人々の暮らし」

次に、東館3階の「被爆前の広島」と「失われた人々の暮らし」のコーナーの説明をしました。被爆前と被爆後のようすの理解を深めていただけるように、動画を交えて説明しました。

○「平和記念公園の戦前の街並み」…



広島産業奨励館



爆心地跡などの写真

当時はにぎやかな繁華街で映画館、お寺、レストランもありました。特徴のあるT字形の相生橋は原爆投下の目標となりました。「広島産業奨励館」は曲線美の美しいセッションスタイルでした。また、プール設備の学校、戦前の小学生の服装や笑顔の様子が伺えます。

○約2か月後の10～11月に米軍が撮影した「被爆後の広島市のパノラマ写真」…

「三和銀行」「広島富国館」「レストハウス」「本川小学校」などが確認できます。原子爆弾は「爆心地島病院」の上空600mで炸裂しました。爆心地では3000～4000℃にもなり、島病院の75名が即死しました。

○「西向寺の被爆した墓石」…西向寺は爆心地から60mのところ

にありました。熱線を受けた石英の上面は、こまかく剥がれて白っぽくなっています。(このような現象は、爆心地から1kmの地点にまで達しています。)西向寺は、今は当会の有志会員のみなさんが月1回の慰霊読経などでお世話になっているお寺さんです。

○「ホワイトパノラマ模型」..

直径5mの広島市の1/1000モデルです。モデルではたった3mmの原子原爆が市を壊滅させたこととなります。当時35万人が住んでいましたが、年末までに14万人が亡くなったと言われています。同じエリアでは現在は67万人が居住し、広島市全体としては120万人の国際平和都市となっています。

3 本館3階 「被爆の実相」

次に本館へ移り、3階の「被爆の実相」のコーナーを説明しました。

こちらの説明では、動員学徒や建物疎開作業の被害について詳しく説明しました。聴講者の中には、ご自身や家族に関係のある方もいらっしやいますので、特に熱心に聞いていただいた印象を持ちました。

○「焼け跡に立つ少女の写真」..

爆心地から1.2kmの焼け跡に立つ10歳の少女、また彼女の20歳の時のお元気な様子の写真。二人のお子さんに恵まれたが、30代でがんを発症され42歳の若さで他界されました。

○「御幸橋のヤケドと負傷の被爆者

の写真」..

原爆投下から約3時間後の午前11時ごろの御幸橋の様子を写した写真。場所は爆心地から約2・27km。また、別の写真は、市内中心部に向けて撮影されており、中央奥に黒く見えるのは火災による煙。被災した人々は、燃え盛る中心部から周辺へと避難しています。写真を撮影した松重美人さんは、当時中国新聞社のカメラマンでしたが、カメラマンとして原爆の被害を撮影し残さなければならぬ、という思いと、あまりにもひどい地獄のような光景を撮影することをためらう気持ちとが合さり、20分くらいシャッターを押すことができなかったそうです。人々の様子を見ると、髪はちぢれ、服もボロボロになっているのがわかります。

○「キノコ雲の写真」..

爆弾投下から約1時間後に80km離れた松山沖から米軍が撮った写真。遠く約60km離れた三次の明正寺の住職さんも、このキノコ雲を見て大きな音を聞いたそうです。

○「亡くなった生徒たちの遺品」..

当時約8400人の中学生、女学生などの子供たちが、建物疎開作業に従事しており、その内の約6300人が犠牲になりました。(出展：広島原爆被災誌)

たくさんある生徒の遺品の中から、「3人の中学生の遺品」を紹介し

ました。

① 1年生13歳の津田栄一さんの帽子とベルト

津田さんは、8月7日昼前、遺体が天満橋付近で父親によって発見され無言の帰宅。顔は赤くふくれ、何かの破片が当たったのか、喉と胸に大きな穴があいて肋骨がのぞいている姿に、母親は一目見て気を失った。

② 2年生14歳の福岡肇さんのボロボロの学生服

左胸についていた名札がかるうじて読み取れたため、同級生の父親が届けてくれたもので、唯一の確実な遺品となった。

③ 1年生12歳の上田正之さんのゲートル



亡くなった生徒たち

撮影/平和学習講座講師 本人 辻 靖司

亡くなった生徒達の衣服

被爆後に隣の福島町まで逃れたところを、近所の人に助けられた。全身の皮膚が垂れ下がるほどの大やけどを負い「お母さん、お母さん」

と泣いてばかりいたという。母親に会えぬまま、8月8日午後死亡されました。

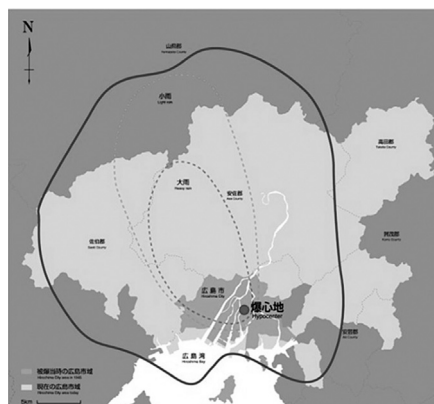
○「伸ちゃんの三輪車」..



3人の中学生の遺品など

爆心地から1.5km。3歳11か月の鉄谷伸一ちゃんは、自宅前で被爆しその夜に死亡。三輪車と一緒に自宅裏に埋葬。40年後の1985年に遺骨をお墓に埋葬。三輪車と鉄カブトを資料館へ寄贈。

○「黒い雨の降った地域」..



黒い雨の降った地域

長径19km、短径11kmの範囲は大
雨、長径29km、短径15kmの範囲は小
雨、黒い雨が降ったと新たに推定さ
れているエリアが赤の範囲、といっ
た黒い雨の降った地域図。

○「自ら負傷しながら罹災証明を書
く警察官」…
爆心地から2.5km。皆実町3丁目。
被爆当日の人物を写した貴重な写真
の1枚。自らの負傷にめげず職務に
精励する姿に頭が下がる思いがしま
す。被爆者は、り災証明により戦時
非常用の救援食糧、乾パンなどの配
給を受けることができました。

○「佐々木禎子さんのお話」…
2歳の時に爆心地から1.7kmのこ
ろで被爆。無傷で小学6年生まで元
気でした。運動会ではリレーの選手
になるなど、元気で活発な女の子と
して成長。小学6年生秋に発病して
翌年2月に白血病と診断された。自
分の願いが叶うと信じて千羽鶴を折
り続けたが、1955年10月25日
に12歳の生涯を終えた。悲しい
知らせを聞いた同級生たちの呼び
かけで、1958年5月5日に「原
爆の子の像」が完成。

現在も献納され続けている折り鶴
は1年間に1000万羽、重さにな
ると10トンになります。広島市では
再生紙にして、市職員の名刺や絵は
がき、幼稚園や小中高校の卒業証書
などに、大切に使用しています。

令和4年度 行事予定表

一般財団法人広島県動員学徒等犠牲者の会

年	月	日	曜	清掃後読経	月	日	曜	清掃（行事がないときは解散）
令和4年	4	7	木		4	20	水	監事会（県社会福祉会館）
					4	28	木	
	5	6	金	理事会（西向寺） （令和3年度事業報告・決算の承認）	5	23	月	定時評議員会（西向寺） （令和3年度事業報告・決算の承認）
	6	6	月		6	20	月	
	7	6	水	追悼式打ち合せ会（役割分担等） 会報「ともしび」封筒入れ（西向寺）	7	20	水	
	8	5	金	供養会	8	19	金	
		6	土	第66回原爆死没者追悼式				
	9	7	水	追悼式反省会（西向寺）	9	21	水	
	10	6	木		10	19	水	
	11	7	月					
	12	7	水	会報ともしび封筒入れ（西向寺）	12	16	金	研修会（西向寺）
令和5年	1	6	金					
	2	6	月					
	3	6	月		3	22	水	理事会・臨時評議員会（西向寺） （令和5年度事業計画・予算承認）

（注）1 慰霊塔付近の清掃は、午前9時30分からです。雨天の場合も実施します。
2 左欄は、慰霊塔付近の清掃後「西向寺」で読経。
右欄は、行事がないときは清掃後解散。
なお、「西向寺」様の都合によって、日程変更する場合があります。

ご寄付お礼

令和3年12月から令和4年5月ま
でに、次の皆様から貴重なご寄付を
いただきました。ご厚志、誠にあり
がとうございました。

黄幡靖様
國本悦郎様
平尾隆文様
仲田庫生様
石川英雄様
梶川博様

ご寄付いただく際には、郵便局にて
左記の口座へお振込みください。

ゆうちょ銀行
振替口座 0130001618858
一般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会

あ と が き

今年の野球は、カープの動向だけ
でなく、翔平と誠也の大リーグでの
活躍にも目が離せませんね。

コロナ感染、ウクライナ侵攻と
いった暗い話題が多い中ですが、末
包、中村（健）たち若鯉や翔平、誠
也の躍動に大声援を送りましょう。
TVの前で、シャッター！と、あら
ん限りの大きな声で！！

（本地正治）

